

戦評用紙

大会名	平成29年度 第68回山形県高等学校総合体育大会バスケットボール競技
-----	------------------------------------

日時	2017年6月4日 12:00 ~	区分	山形県高体連
----	-------------------	----	--------

チームA				チームB
山形市立商業				山形中央
62	15	1Q	21	69
	16	2Q	14	
	17	3Q	19	
	14	4Q	15	
		延長		

【戦評】

スターティングメンバーは山形商業が#4・5・6・7・8、山形中央が#4・5・6・7・8。ともにマンツーマンディフェンスでスタート。第1Q最初の得点は山形中央#7、次いで山形商業#7。序盤は互いに堅いディフェンスで一步も譲らない展開が続く。6分経過したところで、山形中央の激しいディフェンスが効き始め、山形商業が難しいシュートを強いられる場面が増えてくる。その間、山形中央は#10が2本の3ポイント、#9のドライブにより山形商業15-21山形中央とする。

第2Q、山形商業は早いパス回しから#7を中心に効果的に点差を詰めるが、ディフェンスファールが増え始める。思うように流れをつかめない山形商業は残り4分でタイムアウトを請求。タイムアウト後、攻撃のリズムをつかみ、#9が3ポイント、次いでドライブでファールを誘いフリースローも2本沈め、23-23の同点とする。しかし、山形中央も激しいディフェンスから速攻を狙い、#7の連続8得点などで31-35とし、山形中央の4点リードで前半終了。

後半第3Qは最初の2分で山形商業#4・#6が連続で得点を重ね再び同点とし、#7も1on1などで得点を重ねていく。これに対して、山形中央は#4が3回目のファールを犯しベンチに下がるものの、チームとして集中力を切らすことなく粘り強いディフェンスから速攻につなげていく。山形商業のファールを誘いつつ、早い展開から#9・#8・#5・#7などが得点を重ねていき、山形商業48-54山形中央とする。

第4Qも接戦がつづく。山形中央は#4・#7・#8などが鋭いドライブから攻撃を仕掛け、相手のファールを誘う場面が目立ち始める。山形商業も#7を中心に攻撃を展開するが、残り4分で#7が5回目のファールを犯しファールアウト。その後#4・#10の得点で何とか3点差まで詰めよるものの、山形中央は執拗にドライブを続けファールをもらいフリースローで確実に得点を重ねていく。最後は山形中央が62-69で逃げ切り、14年ぶりにインターハイ出場権を獲得した。

戦評者

佐々木雅人